



SSH通信

第10号

令和4年2月28日 発行

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校

〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1

電話 03-3382-0601

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

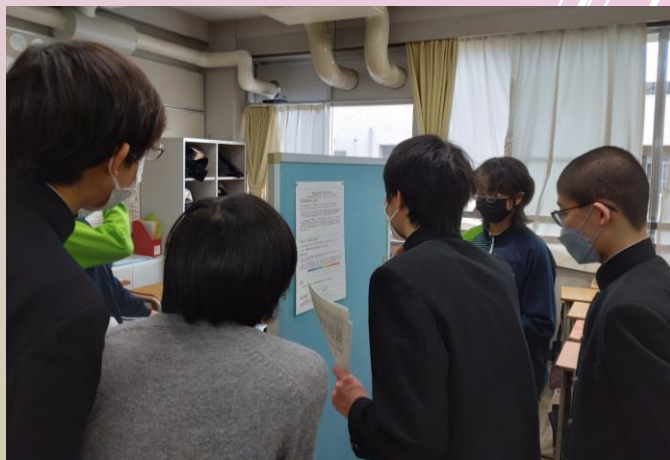
令和3年度 第2回探究発表会

2月16日(水)に第2回探究発表会が開催されました。1年間の課題研究「富士未来学」の学習の成果を中学1学年から高校2学年の生徒全員が発表しました。

中学1学年は富士山をテーマとして、データ分析講座Ⅰで学習した箱ひげ図などを用いてポスターを作成しました。

富士未来学Ⅰ 中学1学年「富士山」

データ分析講座Ⅰで身に付けた記述統計や箱ひげ図などの統計の基礎、プレゼン講座Ⅰで学んだポスター製作やICTを活用し、「富士山」に関する様々なテーマでの発表を行いました。SSH運営指導委員の先生方や、参加した大学や高校の先生方からは、中学1学年とは思えないような立派な発表であると高く評価していただきました。右の写真は、高校生の熱心な質疑に答えている中学1年生のポスターセッションの様子です。



富士未来学Ⅱ 中学2学年 テーマ「国際理解」

データ分析講座Ⅱで相関関係やグラフの活用方法を、プレゼン講座ⅡでICTを活用した発表の応用を学習し、データの比較を根拠として自己の主張を表現する研究発表を行いました。散布図や相関関係、回帰直線を活用して国際間の比較をしているポスターも多くみられました。左の写真では中学2年生が、中学1年生にデータの見方を説明しています。



富士未来学Ⅲ 中学3学年 テーマ ゼミ活動での課題研究

データ分析講座Ⅲで学習した仮説検定をプレ課題研究における検証に活用して発表しました。ゼミごとに行ったプレ課題研究の成果を発表しました。統計的な手法に挑戦したポスターが多く、今後は楽しみです。



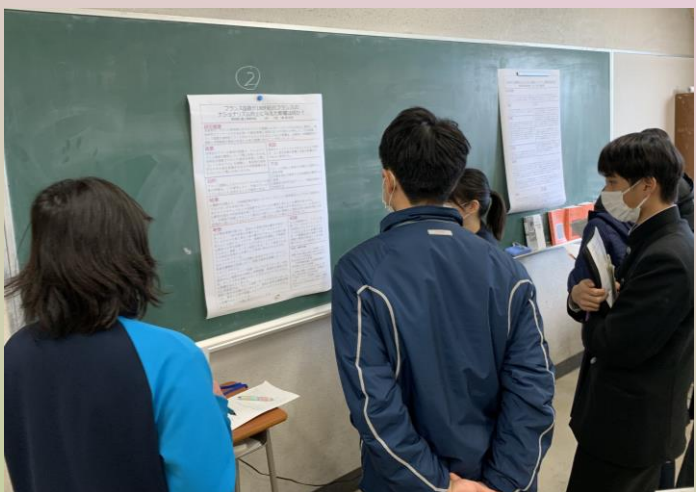
富士未来学Ⅳ 高校1学年 テーマ ラボ活動での課題研究 (研究計画発表)

研究計画書講座で疑問から問いを立て、問いから仮説を設定し、検証計画を立案しました。作成した研究計画書を基に、ラボごとに課題研究を始め、見直し、改善した研究計画についてポスター発表を行いました。設定した仮説を検証するために、仮説検定という手法を用いて、自己の主張を立証するための研究計画を立ててポスターにまとめました。発表会の質疑を受けて、さらに計画をブラッシュアップしていきます。右の写真は代表でオンライン発表をしている生徒の様子です。オンライン発表でも活発な質疑が交わされました。



富士未来学Ⅴ 高校2学年 テーマ ラボ活動での課題研究 (最終発表)

統計分析講座で推定や仮説検定を学習しました。質問紙調査で得たデータを分析する手法も学び、課題研究に活用しました。理科に関するテーマに取り組んでいる生徒は、実験を行い、得られたデータを根拠にして結論を導き出していました。質問紙調査や実験など、富士未来学で身に付けた検証方法を活用した、説得力のある主張も多く見られ、下級生の目標となる発表となっていました。



テキスト開発成果発表会

2月16日(水)午後2時20分
富士未来学のテキストの開発過程や、テキストの特徴、テキストを活用した授業の紹介等を発表しました。対面とオンラインで官公庁関係者、大学関係者、中学・高校関係者等95名の参加がありました。発表後の質疑応答も充実した内容になりました。最後に、学校法人桐蔭学園理事長で本校のIR校外評価委員・SSH運営指導委員でもある溝上慎一先生の講評をいただきました。



SSHの課題研究について熱い議論がなされました。

第10回理数セミナー 2月12日(土) 「化学がめざすものー光と分子のサイエンス」 講師 京都大学名誉教授の馬場正明先生

参加生徒の感想を紹介します。

- ・化学は暗記ではなく、理論的に考えることが大事だと分かったので、身近にある化学について目を向けて、なぜそうなるのかという疑問を常にもってみたいと思う。
- ・化学は暗記科目だと思っていたが、理由を知れば、理解しやすくなった。
- ・やりたいことを見つけて進路につなげる。
- ・すべてのことが化学に繋がると分かった。

